

【教養科目領域/基盤科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語 (メディアと SNS)	NLA12_001	選択	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
ジャンル・ディメンション	教員控室	jsturjeon	水曜日 13:00~14:30		
授業の目的・概要	<p>目的：英語による SNS やオンライン交流を理解し、文字情報から感情・意図・含意を読み取る力を養う。適切で安全な英語表現を用い、国際的なデジタル環境で円滑に発信・理解できる力を身につける。</p> <p>概要：本授業では、SNS やオンライン上で使われる英語表現を分析し、非言語的要素や文化的背景を理解する。事例を通して、誤解を避けた適切な読み取りと発信を実践的に学ぶ。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	オンライン英語は教科書英語と異なるため、事例に多く触れることが重要である。誤りを恐れず、文脈や相手の意図を考えながら英語表現を観察・理解する姿勢を持ってほしい。				
教科書	必要に応じプリントの配布を行う。				
参考書	英和辞典 (授業に必ず持参すること)				
外部教材	プリント配布する				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	英語 SNS の文脈から感情や意図を読み取れる。				HSU(2)
②	事実に基づく英語のコメントと皮肉や冗談を区別できる。				HSU(2)
③	様々な SNS コミュニケーションの慣習に合わせて英語を適応させることができる。				HSU(2)
④	一般的な英語 SNS の略語やスラングについて実用的な知識を示せる。				HSU(2)
⑤	翻訳ツールの限界を理解し活用できる。				HSU(2)
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	授業概要の説明、履修確認、評価方法の説明。SNS 英語とは何かを簡単に紹介する。	講義・演習	必要に応じて一時的なメールアドレスを作成する。	1	
2	代表的な SNS の種類と特徴を学ぶ。英語が使われる目的や場面について理解する。	講義・演習		1	
3	チャット型 SNS で使われる英語表現を学ぶ。短文・省略・絵文字の役割を理解する。	講義・演習		1	
4	投稿型 SNS の英語表現を分析する。読み手を意識した書き方や反応の違いを学ぶ。	講義・演習		1	
5	動画・配信系 SNS の英語表現を学ぶ。話し言葉と字幕の違いに注目する。	講義・演習	授業で配布した資料を確認する。インターネットで、扱った内容の例を探す。	1	
6	大文字・小文字や句読点による感情表現の違いを学び、意味の変化を考える。	講義・演習		1	
7	繰り返し文字や誇張表現を用いた皮肉や冗談を読み取る練習を行う。	講義・演習		1	
8	音を文字化した表現やアクション表現を学び、話し言葉との関係を理解する。	講義・演習		1	
9	引用符や略語が示す隠れた意味を学び、誤解が生じやすい表現を分析する。	講義・演習	試験勉強をする。	1	
10	中間試験：非言語コミュニケーションのテキストベースの代替手段と、各種 SNS の特徴を学ぶ。	講義・演習	クラスで共有して話し合うためのミームをいくつか探す。	1	
11	ミームの構造と意味を学ぶ。画像と英語表現の関係を理解する。	講義・演習	テンプレートを_usingして、次回の授業で共有・議論するミームを作成する。	1	
12	ミーム使用時の注意点を学ぶ。文化差や誤用のリスクについて考える。	講義・演習		1	
13	荒らしや挑発的表現の特徴を学び、適切な対処法を英語で理解する。	講義・演習	授業で配布した資料を確認する。インターネットで、扱った内容の例を探す。	1	
14	翻訳ツールが誤解を生む例を分析し、人による解釈の重要性を学ぶ。	講義・演習		1	
15	オンライン上での自己表現と安全性について考え、英語での判断力を養う。	講義・演習	試験勉強をする。	1	
試	筆記試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【教養科目領域/基盤科目群】

		達成度評価						
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		100	0	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	50	0	0	0	0	50	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	
		評価のポイント					フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期中に2つの定期試験を実施。					試験の評価、教員によるの個人的な助言
	②	✓	試験①：前半で学んだことを試験範囲とする。(SNSの主な種類とその特徴。短い文章、略語、絵文字、大文字表記、非標準的な綴りの役割。テキスト内に潜む隠された意味や裏の意図。)					
	③	✓	試験②：後半で学んだことを試験範囲とする。(ミームの構造と意味、そして不適切な使用時。文化の違いと、荒らし行為の認識・対処法。SNSにおける翻訳ソフトの活用とリスク。)					
	④	✓						
	⑤	✓	*試験①②とも、筆記試験					
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
備 考								
他担当教員	なし							
教員の 実務 経験	19年間日本で英語を教えること、そしてその中の10年間は健康科学大学で英語を教えること。英語のネイティブスピーカー。							
実践的授業の内容	英語を母語とする者として、日常的に SNS で英語を使用しているため、テキストが表しうる様々な意味を区別する豊富な経験を有しています。							
そ の 他	コースの一環として、一部の SNS サービス (無料) への登録をお願いする場合がございます。これにはメールアドレスが必要となることが多いため、ご自身の個人用メールアドレスを使用しにくい場合は、学生用メールアドレスをご利用いただくか、本授業専用 Gmail で一時的なアカウントを作成してください。後者の場合、授業初日までに使い捨てアカウントを作成し、正常に機能することを確認しておくことをお勧めします。本シラバスに記載されている内容は変更される可能性があることにご留意ください。							